

	40代 女性	40代 女性	60代 男性	70代 男性
市との関わり	特になし	特になし	特になし	地域課題の関係で、市への意見提出を定期的に行っている
市政情報の獲得方法	市HP 公共施設へ来た際のチラシ等	広報紙、市HP、井戸端会議	広報紙、 公共施設へ来た際のチラシ等	広報紙 市HP
市政情報を得やすくするための方策	・情報のジャンルを明確に見せる。 ・自分から、市民参加に関する情報を得ようとはあまり考えないので、自分の手元に直接届くような情報の形であればみるかもしれない。 ・スーパー等、自然と活用する場所に市政情報があれば、手に取ったり目にする機会も増える。	・バスや電車等、人のとおりが多く、なにかの”ついで”となるような場所で情報を発信する。 ・地域ごとに核となっているような、郵便局、商店、施設等に協力してもらい、情報紙や意見箱等を設置する。	HPを見ないので、紙媒体での情報発信が重要。	
アンケートへ回答した理由	何か協力したいと思った。	市民としての責任をもって、協力したいと思った。	協力しようと感じたから。	これまで、個人的に市民参加をすることはあまりなかったが、自宅に届いたので回答した。
条例に対する意見		市民参加は、より良いまちにするために意見するものであって、批判やクレームに終始しては意味がない。		
参加意欲について	無作為抽出などで選出されれば、参加しても良い	時間に都合があれば、是非参加したい	興味のあるテーマであれば参加したい。	
これまで参加したことのある方法	NO	NO	NO	説明会、市長への手紙
参加したときの感想	NO	以前意見を出したり相談をした際に、市として対応はできなくても、工夫方法などを聞くことができ、有意義だった。	NO	意見はしっかりと取り扱われた。
無作為抽出の有効性について	有効であると思う	有効であると思う	有効であると思う	有効であると思う
理由		無作為抽出で選ばれることで、協力してみようという気持ちになるから。茅ヶ崎には、そのような気概を持っている方が多くいるように感じる。		特に住む地域のテーマなどであれば、答えやすい。
意見の取扱いについて	尊重していると思わない	尊重していると思わない	尊重していると思う	尊重していると思う
理由	意見がどのように反映されたかわからないから。	一人を出す意見がすべて反映されるということは難しいことで、団体や自治会等で、一定の複数名以上の合意を得たものを意見すべきだと考えるから。	意見を出した際に、すぐに返答があったから。 ただし、本当に対応があったかどうかは疑問。	意見に対して回答があり、対応されたことがわかったから。
市民参加をしやすくなる工夫のアイデア	LINEなどのSNSを使って、気軽に情報を見られるようにする。	・意見交換会等は、1回だけではなく、午前午後で時間帯を分けるなどする。 ・twitterやLINEなど、直接参加できる機会を増やす。 ・市民税や、保険、年金の関係など、生活に直結する通知と共に(裏面に印刷するなどして)送付すること。	・実施していることが直接自宅に届くような仕組みであれば良い。 ・各地域ごと、小さい対象に分けて実施してくれれば、参加しやすい。 ・市民でグループごとに分かれてやるような勉強会を行うこと。	意見の聴取を、自治会など小さい地域で実施すること。その方が意見が出しやすいし、まとめやすい。
その他	知りたいことがあっても窓口に聞いていいのかわからず、そのままになってしまう。	条例や計画で、どんなことが決まったのかという情報を目にするのが少ない。	茅ヶ崎市の広報紙は、寒川の物に比べて内容が少ない。	
感想		相談をしてみれば、しっかりと対応してもらえることがあるのに、相談をせずにただ批判的な意見を言っている人が多いように感じる。		